

乳幼児から高齢者まで生涯を通じたライフステージごとの切れ目のない支援

(1)乳幼児期における健全な歯と口の育成



取組み方針

- むし歯予防のための仕上げみがきの重要性に関する知識の啓発
- むし歯予防の1つとして、フッ素（フッ素塗布、フッ素洗口、フッ素入り歯みがき粉）の啓発

主な指標

3歳児のむし歯のない者の割合	
平成28年度	平成34年度
82.4%	90%

(2)学齢期におけるむし歯と歯肉炎の予防



取組み方針

- むし歯や歯肉炎（歯周炎を含む）などの歯科疾患に関する知識の啓発
- 学校歯科医、学校関係者、行政、歯科医師会が連携した、学校歯科保健の推進

主な指標

中学1年生のむし歯のない者の割合	
平成28年度	平成34年度
74.7%	77%

(3)成人期【妊産婦含む】における歯周病と歯の喪失予防



取組み方針

- 歯周病対策として、健康診査など様々な機会を活用した健康教育の推進
- 歯周病と喫煙や糖尿病などの全身疾患との関連について、正しい知識の啓発

主な指標

歯周炎（進行した歯周病）を有する者の割合		
	平成28年度	平成34年度
20歳代	43.0%	30%
40歳	43.5%	30%

(4)高齢期における歯の喪失防止



取組み方針

- 口腔ケアとがんや誤嚥性肺炎など全身疾患との関連、口腔機能の維持や義歯を含む口腔清掃に関する正しい知識の啓発
- 地域や職場などで歯科検診・歯科保健指導を実施及び拡充するための支援の実施

主な指標

80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合	
平成28年度	平成34年度
30.6%	50%

定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者への歯科口腔保健対策の推進



(1)障害者(児)、要介護高齢者、在宅療養者における受診したいときに受診できる環境づくり

取組み方針

- 障害者（児）などが容易に歯科受診できる環境の整備・充実
- 多職種と連携した口腔ケアについての助言・支援
- 在宅療養者への歯科検診事業の充実



主な指標

障害福祉サービス事業所(入所)における定期的な歯科検診実施率	
平成28年度	平成34年度
66.7%	80%

介護老人福祉施設及び介護老人保健施設等入所者の口腔管理を行っている施設数の増加	
平成28年度	平成34年度
78.4%	90%

歯科口腔保健対策を推進するために必要な社会環境の整備

(1)知識の普及啓発

取組み方針

- 8020運動やイベントなどを通じた知識・意識の啓発による、市民の歯と口の健康づくりに関する意識の向上

(2)歯と口の健康づくりに携わる者の支援と資質の向上

取組み方針

- 歯と口の健康づくりに携わる保健・医療従事者などに対して研修会などを実施することによる、知識や技術の習得・人材の掘り起し

(3)災害時の歯科口腔保健対策

取組み方針

- 地域の医療機関・団体との連携及び情報共有の促進による、災害時における地域住民の健康の保持

